

「新たな基本構想に関する審議の中間のまとめ」
に対する意見募集実施結果

令和2年2月
目黒区長期計画審議会

「新たな基本構想に関する審議の中間のまとめ」に対する意見募集の実施結果について

1 中間のまとめに対する意見募集の実施結果

【意見募集】

- 募集期間：令和元年12月5日(木)から令和2年1月17日(金)まで
- 周知方法：めぐろ区報(12/5号)、目黒区ホームページ、総合庁舎1階区政情報コーナー、地区サービス事務所(東部地区除く)、住区センター、区立図書館、目黒駅行政サービス窓口にて閲覧及び配布した。

【職員への意見募集】

- 意見募集と同時期に募集

2 意見募集の集計結果

(1) 提出者数

提出者	書面	F A X	メール	計
個人	4	1	5	10
団体	2	2	6	10
計	6	3	11	20

【職員意見】 なし

(2) 対応区分別意見数

番号	内容	件数	割合
1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。	8	10.4%
2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。	10	13.0%
3	ご意見の趣旨は、「中間のまとめ」で示した考え方に含まれていると考えます。	2	2.6%
4	その他	9	11.7%
—	ご意見の趣旨を参考としていただくよう区の関係所管に伝達します。	48	62.3%
	合計	77	100.0%

※ご意見のうち長文であるものや多岐にわたるものは、趣旨を損なわない範囲で一部省略、要約又は分割している場合があります。

番号	区分	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
1	団体	目黒区環境基本計画(2017.3策定)において、「太陽光発電等、家庭における再生可能エネルギー及び省エネルギー機器の普及を図ります。」とされていることから、16環境 (29)持続可能なまちづくりの「C想定される具体的施策」内「再生可能エネルギーの利用促進」を「省エネルギー機器等や再生エネルギーの利用推進」に変更することを提案する。	1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。
2	団体	「最終答申に向けて」について、32の政策分野をいくつかの大括りにし、基本目標にするのはいいと思う。イメージ例をつぎのようにしたらどうか。 <div style="text-align: center;"> <p>目黒の将来像</p> </div>	1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。
3	団体	区民の期待するまちの将来像について、「子育てしやすいまち」「高齢者や障がい者にやさしいまち」「災害に強いまち」と回答した区民の割合が多いことから、この3つの観点を重点に置いた長期計画をつくるべきである。	1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。
4	団体	D欄に示された施策例には、20年後の目黒に関わる「ヒト」のライフスタイルの変化を先読みした施策を示していくべきではないか。	1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。
5	団体	従来型の行政参画を再検討し、負担感の少ない住民参画の仕組みの構築が求められているように思う。基本構想には、将来の目黒の絵姿とともに、区民や行政の関わり方を示す事が重要だ。	1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。

番号	区分	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
6	個人	みどりの自然環境整備を優先してほしい。これまでは保育園や老人ホームの助成を優先してきたが、みどり豊かなまちづくりを重点政策として基本構想の一つに位置付けていただきたい。	1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。
7	団体	若者が高齢者をサポートする「共助」の社会を目指してほしい。そのための取り組みとして目黒区には多世代交流会等を企画する等の「公助」を期待する。	1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。
8	団体	中間のまとめでは、基本理念に関する具体的な記述はないが、住民の福祉増進、平和・人権の尊重、環境との調和、住民自治という4つの観点を据えるべきである。	1	ご意見の趣旨を踏まえて検討を進め、答申を取りまとめます。
9	団体	複数の分野で自助・共助・互助・公助などと言われているが、「公助」の役割を薄めることなく、行政の役割としてしっかりと位置付けるべきである。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。
10	個人	政策分野別の「目指すべき将来像」 「4-(8)日常生活の安全・安心」について、犯罪者ありきの社会ではなく犯罪者を作らない社会の実現に視点を向けたらどのような施策になるのか。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。
11	個人	政策分野別の「目指すべき将来像」 「4-(7)震災、風水害などへの備え」について、「13-(25)災害に強い街づくり」のようにもっと大きな視点で展開してはどうか。また防災単独ではなく、発生要因と考えられる「15自然環境・景観」「16環境」と絡めて展開してはどうか。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。
12	団体	防犯活動では被害防止は重要だが、加害者を出させないことも大切だと思う。学校教育も含めて、犯罪を起こさない取り組みも必要ではないか。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。
13	個人	なぜ目黒区は道路整備が優先されるような組織改正を行い、みどり豊かな環境や子供たちの遊び場の整備を後回しにしてまで、地域振興政策を展開するのか。目黒区が住区住民会議に多くのお金を費やしている点も、経営方針が間違っているように感じる。基本構想には自治経営を正常な状態に戻す基礎となっていたきたい。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。

番号	区分	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
14	個人	みどり豊かな自然環境を保全・創出を大切にしてほしい。みどりを破壊してマンションをつくる都市整備政策は不要だと思う。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。
15	個人	現在の基本構想の基本部分は踏襲、「目指すべき将来像」の組み換え 1) 基本理念: 平和、人権、地球環境 2) 地方自治の目標: 開かれた行政、参加型社会の実現 3) 行政計画 ①安心・安全 ②保健・医療・福祉 ③健康・教育・生活 ④まちづくり ⑤都市形成	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。
16	団体	「はじめに～「中間のまとめ」の公表に当たって～」の文中で「区民生活を支える基礎的自治体である目黒区は、人口構造や社会経済状況の大きな変化を予測される中にあっても、地域の活力が失われることなく、全ての世代の人々にとって暮らしやすく、地域の様々な活動に参加できる環境を整備するとともに、将来にわたって持続可能な行政サービスを展開していくことを基本として、行政を推進していかなければなりません。」とし、「区の将来像やあるべき姿」を基本構想という形で、多様な区民の参画を得ながらつくりあげていくことが必要」としているが、以下の視点を明確にしていきたい。 ①「新たな基本構想」策定にあたって、現在の憲法に基づいた基本構想と同様の理念を踏まえるべき。 ②「地域の活力」は住民自治が基本となるべき。 ③「全ての世代にとって暮らしやすく」というのでは不十分であり、人権を尊重し「個性や違いを認め合いともにいきいきと暮らし続けられる目黒区づくり」が必要。 ④行政政策における「コスト削減」によって「利用者負担増」や「民間委託の推進」や事業の廃止とならぬように、東京都や国に対して制度改革や財的支援を求めるのも基礎的自治体の役割ではないか。 ⑤「めぐろの未来アンケート」で示された区民の意識を目黒区はしっかりと受け止めるべき。実施にあたっては各分野の対象者の実態調査や意見聴取のうえ住民参加での計画の策定を望みたい。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。

番号	区分	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
17	団体	今回の基本構想で計画期間とされる2030年までは2018年8月の目黒区の人口予測より0～14歳までの人口が増加する傾向にある。「子育て分野」に関する基本構想は、その人口増加に見合った計画となるべきであるため、「12 子育て」「D将来像を実現するための施策例」に、「目黒区の子どもの人口は今後も引き続き増加傾向にあるなかでは、仕事と子育ての両立を支援する学童保育クラブの整備(増設)、放課後の子どもたちの居場所だけでなく、0歳～18歳までの子育てとその保護者の子育てを支援する拠点となる児童館整備(増設)の推進」と、より明確なビジョンを記載していただきたい。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。
18	団体	福祉や子育て、災害対策、まちづくりなどは、行政がきちんとした計画を持ち、行政の責任をあいまいにせず、「民間丸投げ」という状況をつくらないことが必要であり、そうした趣旨を長期計画にも盛り込むべきである。	2	ご意見は、当審議会における今後の議論の参考とします。
19	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 13.安全・安心の街づくり・雨水流出抑制の推進。景観資源の保全。	3	ご意見の趣旨は、「中間のまとめ」で示した考え方に含まれていると考えます。
20	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 17.教育・インクルーシブ教育の必修化	3	ご意見の趣旨は、「中間のまとめ」で示した考え方に含まれていると考えます。

番号	区分	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
21	団体	地震・風水害等の災害時でも建物や地域において、電力等のエネルギー供給を確保できるエネルギーセキュリティの向上が重要な課題と考えるため、13安心・安全の街づくり (25)災害に強い街づくりの「C想定される具体的施策」に「エネルギーセキュリティの向上」の追加を提案する。	4	エネルギー安全保障については、国のエネルギー政策によるところが大きいと考えます。基礎自治体として取り組むべき施策(例えば、再生可能エネルギーの利用促進など)は掲げています。
22	個人	長期計画のビジョンの下で子供、孫の世代においても安心して住める目黒区にしていけるよう検討していただきたい。	4	最終答申に向けて、ご意見の趣旨に沿えるよう、検討を進めていきます。
23	個人	基本構想に対する議論なのか、基本計画が含まれる長期計画を含んだ議論なのか、不鮮明である。 中間のまとめでは、基本計画的な政策・将来像・施策が取り上げられており、それをもとに基本構想に関連する目標や方針が導き出されるという構成を持っているように見える。言い換えれば、そこで示されるのは、基本構想+基本計画(施策)であり、長期計画との差が定かでなくなる。	4	審議会に対して諮問のあった事項は、「新たな基本構想及びこれを実現するための施策の基本的方向」です。そこで、審議会では、最初に区の施策全般の現状や課題を把握することに努め、そこから各政策分野の将来像を明らかにしました。中間のまとめでは、それらを議論の一定の到達点としてお示しました。
24	個人	現在の基本構想は、一定の普遍性を持った目標や方針が示されている。それを引き継いで、時代の要請に対応するように修正するのか、全く新たな視点で基本構想を作ろうとするかでは、議論において大きな差が生じる。 20年経ったから修正であれば、時代の変化を明示し、継承する内容、加える内容を明確にする必要がある。 一方、新たな見直しを必要とするのであれば、動機付けはどこにあるのか。 1)30年以内に東海地震88%、直下型地震70%。防災に止まらず、被災後の生活、復興の方向を提示すべき 2)2045年がシンギュラリティとの説あり。AI社会の急速な進展、Society 5.0、スマートシティ新たな課題 3)目黒区において、人口ピークが2030年、それ以降、減少と予測。延長線上に着地点はあるか 4)地球温暖化・海平面上昇を軸に地球環境問題が、地球の持続性、次世代の環境の享受における喫緊の課題	4	審議会では、21世紀半ばの将来に向けて、区民の誰もがいきいきと輝き、心豊かに生活できる地域となるよう、改めて10年先、20年先の目黒区のあるべき姿、また、その実現に向けて取り組んでいくべき施策の基本的方向について提言することを前提に議論を進めてきました。 検討の手法は様々な手法があらうかと思いますが、審議会では、区民とつても分かりやすい内容とすることを意識して、内容全般にわたる見直しを行いました。

番号	区分	意見内容(要旨)	対応区分	検討結果(対応策)
25	個人	目黒区の将来において基本になる理念が問われる基本構想の策定では、現在の基本構想にある基本理念を継承しつつ、今日の社会に適合した基本理念を設定し、基本構想にふさわしい目標を提示していくという方法の方が適しているのではないかと考える。	4	審議会では、最初に区の施策全般の現状や課題を把握することに努め、そこから各政策分野の将来像を明らかにし、「新たな基本構想及びこれを実現するための施策の基本的方向」として示す方法を選びました。
26	団体	「はじめに～「中間のまとめ」の公表に当たって～」には諮問文の丸写しが多く見られるにも関わらず、一部については抜け落ちた文章も見られる。審議会の審議姿勢が見えてこないように思う。	4	審議会として、諮問を受けてから「中間のまとめ」を策定するまでの経緯、議論の前提などを表しましたが、各委員が熱心に検討を進めてきた状況をお伝えできず、残念です。
27	団体	基本構想の期間について、20年とか30年にわたっての構想ではなくもっと将来にわたっての目黒区はこうありたいというざっくりした構想の方がよいのではないかと。この方が区民もまちづくりに意欲を持つことができる。	4	審議会では、21世紀半ばの将来に向けて、区民の誰もがいきいきと輝き、心豊かに生活できる地域となるよう、改めて10年先、20年先の目黒区のあるべき姿、また、その実現に向けて取り組んでいくべき施策の基本的方向について提言することを前提に議論を進めました。
28	個人	目黒区長期計画審議会においては、重要で多様な施策が採りあげられ、それぞれに熱心で有効な審議があったことを評価したい。	4	審議過程へのご理解をいただきありがとうございます。
29	団体	次回の最終答申において、基本構想が次世代に向けた「目黒の基本法」に昇華するものと確信し、期待する。	4	最終答申に向けて、ご意見の趣旨に沿えるよう、検討を進めていきます。

◆次のご意見・ご要望は、具体的な区の施策・事業に関わるものと考えますので、今後の区政運営の参考としていただこう、関係所管に伝えます。

番号	区分	意見内容(要旨)	主な関係所管
1	個人	駒場方面はバス便・鉄道の便も悪く、区役所や区民センターへ行くのに不便である。改善策を基本構想の中で指摘して頂きたい。	土木管理課
2	団体	データの利活用の推進とあるが、個人情報の扱いが懸念される。自分の個人情報は自分が管理できるようにしなければならぬと思う。	情報課、広報課
3	個人	戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えると共に、侵略戦争に関する正しい歴史認識を深め、加害者でもあったことへの反省も含めた平和活動を継続したい。	総務課
4	個人	真の男女平等を達成するために、女性の管理職を増やし男性の家事・育児に費やす時間も増やす必要がある。そのためには、職場での仕事の合理化と簡素化が不可欠。	人権政策課
5	個人	障害者も社会で活躍し、不自由なく暮らすために、完全なバリアフリー環境を実現する。	障害福祉課
6	個人	シングルマザーや高齢女性が差別されることなく(住宅を)賃貸できるようにする。	住宅課
7	個人	国際的にも誇れる美術館や劇場の建築を誘致する。	文化・交流課
8	個人	公共施設(図書館、体育館、駅、商店街、公園)敷地内及び周辺での完全禁煙。	健康推進課
9	個人	社会の一員であることの認識を深め、地域社会への貢献の重要性を育成するために、ボランティア活動を奨励する。	健康福祉計画課
10	個人	目黒区長期計画審議会委員に女性の割合が3分の1しかないことが残念だ。区民の将来を審議する委員会の構成は男女平等にすべきである。	長期計画コミュニティ課

番号	区分	意見内容(要旨)	主な関係所管
11	個人	予算の過半を健康福祉費が占める現状では、電線の地中化や地球環境の保全などが進むとは思えない。自由が丘や大岡山の都市計画道路・公園の整備や防災対策を進めてほしい。	防災課、みどり土木政策課
12	団体	自治体主体の生涯学習は地域の歴史、健康、スポーツ、語学などごく一部の分野しかない。高齢者が、科学、経済、統計、数学など、これまでの生涯教育にない分野も、学び直す機会を設けて欲しい。『学びの成果を地域で生かす区民を増やす』施策を実施するのであれば、同じ分野において生涯学習に参加できる環境も整備していただきたい。	生涯学習課
13	個人	少子化による生徒・児童の減少対策として、授業の内容を充実させ、公立の学校でも私立に負けないような素晴らしい学校教育を目黒から発信してほしい。	学校運営課
14	個人	健全な環境を子供達に引き継ぐためには、区始動の“NO CAR DAY”のように行政が率先して、国際的視点を持った「環境教育」を長期にわたって継続する必要がある。	環境保全課
15	個人	子供達をいじめ、犯罪、大人からの虐待等から守るためには、行政、警察、学校、近隣等が実践的な連携を図り取り組むことが重要である。	子育て支援課
16	団体	「無電柱化の推進」に賛同する。無電柱化の推進にあたっては、電線占用条件(埋設の深さ、埋設位置、他埋設物との隔離等)を明確にし、適切な運用を図っていただきたい。また電線地中化の整備の際は、「多数の関係者との調整」をはかりつつ、計画的に推進していただきたい。	みどり土木政策課
17	個人	自宅の真裏で5階建てのビルの建設が始まった。日差しが遮られて寝具や洗濯物が乾かず、乾燥機等を購入したり光熱費が余分にかかったりするのではないかと不安だ。他所でも同様の事が起こらないようにまちづくりについてご一考願いたい。	建築課
18	団体	「条件に恵まれた人も条件に恵まれない人も含めて、様々な条件の人が希望と努力をもって住み続けられる目黒」について、目黒に住み続けられるための安全で安定した住宅の確保は、目黒区の政策にも大切なことなので、目黒区の住まいの実態調査を行い現実的・合理的な政策を打ち出してほしい。	住宅課
19	団体	障害児と家族にとって、災害時どうしたらよいのか非常に不安だ。一般の避難所や福祉避難所の充実とともに、日頃から災害時の対応について学ぶ場が必要である。	健康福祉計画課
20	団体	障害福祉を充実するためには、施設等の充実もしていく必要があるが、福祉人材の確保が重要。福祉従事者が安心して目黒区で働けるような支援もお願いしたい。	障害福祉課

番号	区分	意見内容(要旨)	主な関係所管
21	団体	乳幼児健診について、保健、医療、福祉などもっと連携して行っていただきたい。障害児が少しでも健診しやすくなるような配慮をしていただきたい。子どもの発達に不安がある場合、受診することは保護者自身にとっても非常なストレスになる。発達の遅れがみられる場合には、適切なフォロー体制によって早期療育への受け入れ方も違ってくると思うので、慎重に対応していただきたい。	健康推進課、子育て支援課
22	団体	保育園によって障害児への支援についてばらつきがあるため、子どもたちが安心して過ごしたり保護者が安心して働けたりするように、すべての保育園の質の確保をお願いしたい。	保育課
23	団体	学童保育についても量と質の充実をお願いしたい。子ども同士の障害理解促進や地域共生社会の実現にもつながると思う。	子育て支援課
24	団体	障害児にとって学びやすい環境を整え、子ども一人ひとりの個性に応じた適切な教育を行えるように教育のシステムを変えていただきたい。	教育政策課
25	団体	子どもの人権が尊重される教育環境づくりには、学校や先生にゆとりが必要だと思う。多忙な教員の支援について、もっと取り組んでいただきたい。	教育指導課
26	団体	今回の基本構想に基づき行政組織改革につながることを大いに期待する。	経営改革推進課
27	団体	各家庭の自由な意志で選んだ公私・幼保施設によって不平等な扱いを受けることがないように施策を打っていただきたい。	保育課、学校運営課
28	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 1.行財政運営・職員確保・人材育成＋地元出身者を増やす、女性管理職を増やす(クオータ制)	人事課
29	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 2.情報政策・ホームページの充実	広報課
30	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 地域防災力の向上→これから益々増えていくマンションとの地域づくりをすすめる。マンションセミナーを復活させマンションの防災を徹底させること。地域協力にはマンションも加えること。超大型台風による高潮対策、地震による津波対策、低地に対する用途地域の検討、低地に対する火災保険適用率の検討。江東5区からの避難民の受け入れ検討	住宅課

番号	区分	意見内容(要旨)	主な関係所管
31	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 地域活動団体同士の連帯・協力の促進→マンションも加えること。	地域振興課
32	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 魅力ある商店街づくり→商店街のごみ処理についてのルール作り	産業経済・消費生活課
33	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 7.芸術・観光・観光めぐりバスを走らせる	文化・交流課
34	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 8.スポーツ振興・高齢者の健康維持のために健康体操教室を増やす。	スポーツ振興課
35	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 9.地域福祉・人材不足について目黒区独自の対策の打ち出し。(例:一般区民のお手伝いポイント貯金制度等)	高齢福祉課
36	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 10.高齢者福祉・カルチャー、教室、談話室・等家にこもらないような仕組みづくり	高齢福祉課
37	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 11.保健医療・男性育児教育を活発にして、幼児虐待、いじめ、暴力などの防止に努める。	健康推進課
38	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 12.子育て・児童館を変化させて、新たな生活教育の場として考える。子ども食堂は地域社会の目が届く学校の近く等に設置。	子育て支援課
39	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 14.道路・交通・自転車の防犯登録の徹底、購入時の義務付け	土木管理課
40	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 16.環境・マンション等へのごみ処理機設置義務付け。飲食店の食品ロス、油の処理、ネズミ対策の徹底。	環境保全課、生活衛生課
41	団体	D「将来像を実現するための施策例」に加えてほしい事 18.生涯学習・多世代間交流が出来る場。	生涯学習課

番号	区分	意見内容(要旨)	主な関係所管
42	団体	住宅政策や地域経済対策など生産年齢人口の増加に向けた積極的な施策を考えるべきである。	政策企画課
43	個人	長期計画の施策の対象者やその家族等が充実した生活や人生が送れるように、区として理想的な施策とその挑戦が可能になることを期待したい。	長期計画コミュニティ課
44	個人	大きな地震や風水害による人的・物的な損害を少なくするために、必要な対応を推進してほしい。	防災課
45	個人	自然災害の要因であると言われている温室効果ガスの排出削減へ向けた取組に数値目標も設定した施策を明示できるとよい。	環境保全課
46	個人	子どもの健全育成の推進には、家庭や地域での生活の質も重要である。地域活動団体や児童館等によって行われている子ども向けの活動を総合的に評価し、それを参考にした地域と家庭の教育力向上につながる施策を明示し推進できるとよい。	子育て支援課
47	個人	身近な自然から地球環境の貴重さを知り、地球温暖化を抑える行動につなげるために、目黒区内の公園やまち中のみどりは大事に管理し保全していただきたい。	みどり土木政策課
48	個人	自由が丘住区内の以下の課題を施策に反映してもらいたい。 ①他の地域から新しくこの地域に移り住む人たち(戸建て、共同住宅等)とのコミュニティ形成の手立ての具体的な支援 ②地域コミュニティを活性化するための個人情報取り扱いの検討 ③地域内の住宅・環境問題等について、ごく少数の人たちの不安や気がかりなことに対応する地域の組織と区との連携 ④都市計画道路・補助127号線の整備の段階的整備計画の概要 ⑤都市計画道路・補助46号線の自由が丘1～2丁目間整備の見通し ⑥自由が丘駅周辺の大井町線・東横線の踏切解消を目指した連続立体化計画の見通し ⑦自由通り、学園通りの歩行環境の改善の見通し ⑧地区内道路の車と自転車通行、自転車通行と歩行者の安全対策の徹底 ⑨バリアフリーの充実 ⑩駅交番横の公衆トイレの改善 ⑪雨水貯留とその利用の奨励 ⑫電気の無駄な消費を抑える取組の施策 ⑬食品ロスを抑える取組の施策 ⑭災害時帰宅困難者、自宅避難者等への区の情報発信及び相互交信の対応	防災課、地域振興課、西部地区サービス事務所、都市計画課、地区整備課、土木管理課、みどり土木政策課、環境保全課、清掃リサイクル課